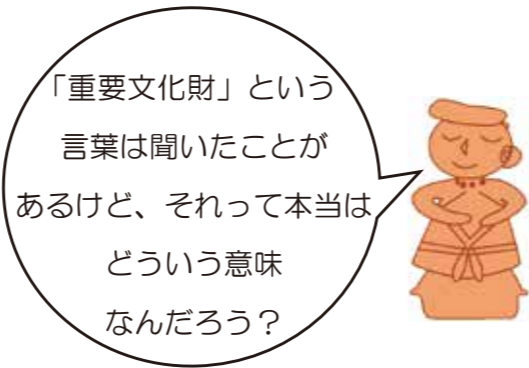


はにわ通信

No.255 平成 28 (2016) 年 6 月号



【「重要文化財」って何だろう？】

松阪市文化財センター「はにわ館」では船形埴輪をはじめとする“宝塚 1 号墳出土品”が、嬉野ふるさと会館 2 階の「嬉野考古館」では嬉野釜生田町辻垣内瓦窯跡出土の“鴟尾”が、それぞれ常設展示されています。実はこの二つ、国指定の重要文化財なんです。しかも今月で、“鴟尾”は重要文化財に指定されて 20 年目、“宝塚 1 号墳出土品”は 10 年目を迎えました。ところで、そもそも「重要文化財」とは一体何なのでしょう？

以前の『はにわ通信』(最近では No.253)でも取り上げましたが、「文化財」は実に多種多様です。では、その中でも重要なものが、「重要文化財」と呼ばれているのでしょうか？

その答えは、『文化財保護法』という法律にありました。この法律では、文化財は「有形文化財」「無形文化財」「民俗文化財」「記念物」「文化的景観」「伝統的建造物群」の 6 つに分けられます(第 2 条 1 項)。これらの中で「重要文化財」に関係があるのは、「有形文化財」だけです(第 27 条 1 項)。「有形文化財」は「建造物」と「美術工芸品」に分けられ、この中から国にとって重要なものが「重要文化財」に指定されるのです。*

松阪市では、平成 28 (2016) 年 1 月 1 日現在、「鴟尾」や“宝塚 1 号墳出土品”を含む 14 の有形文化財が重要文化財に指定されています。『文化財保護法』第 27 条 2 項には「重要文化財のうち世界文化の見地から価値の高いもので、たぐいなき国民の宝たるもの」が国宝に指定されると書いてあります。将来、松阪市の重要文化財から国宝に指定されるものが出て来るかもしれませんね！

(担当)

| 松阪市の重要文化財 (国指定) | | | | | | |
|-----------------|------|----------------|-------------------|--------------|--------------|----|
| 種別 | No. | 名称 | 数 | 所在地 | 時代 | |
| 有形文化財 | 建造物 | 1 旧松坂御城番長屋 | 2 棟 | 殿町 | 江戸 | |
| | | 2 来迎寺本堂 | 1 棟 | 白粉町(来迎寺) | 江戸 | |
| | 彫刻 | 3 木造地藏菩薩立像 | 1 軀 | 朝田町(朝田寺) | 平安 | |
| | | 4 木造阿彌陀如来坐像 | 1 軀 | 中町(清光寺) | 鎌倉 | |
| | | 5 木造地藏菩薩坐像 | 1 軀 | 射和町(大日堂) | 南北朝 | |
| | | 6 木造阿彌陀如来坐像 | 1 軀 | 下蛸路町(真福寺) | 鎌倉 | |
| | | 7 木造薬師如来立像 | 1 軀 | 嬉野一志町(一志薬師寺) | 平安 | |
| | | 8 木造阿彌陀如来坐像 | 1 軀 | 上ノ庄町(永善寺) | 鎌倉 | |
| | | 美術工芸品 | 9 唐獅子図 曾我蕭白筆 附杉戸絵 | 10 点 | 朝田町(朝田寺) | 江戸 |
| | | | 10 太刀 無銘伝国俊 | 1 口 | 東京国立博物館 [寄託] | 鎌倉 |
| | 考古資料 | 11 鴟尾 | 2 箇 | 嬉野考古館 | 白鳳 | |
| | | 12 宝塚1号墳出土品 | 276 点 | 松阪市文化財センター | 古墳 | |
| | 書跡 | 13 本居宣長稿本並関係資料 | 467種 1949 点 | 本居宣長記念館 | 江戸 | |
| | | 14 松浦武四郎関係資料 | 1503 点 | 松浦武四郎記念館 | 江戸 | |

※)『文化財保護法』では、6 つに分類された文化財のうち重要なものを、それぞれ次のように呼んでいます。

- 【有形文化財】重要文化財 【無形文化財】重要無形文化財 【民俗文化財】重要有形民俗文化財、重要無形民俗文化財
- 【記念物】史跡、名勝、天然記念物 【文化的景観】重要文化的景観
- 【伝統的建造物群保存地区】重要伝統的建造物群保存地区

【鮮やかな新緑、雨に潤う…】

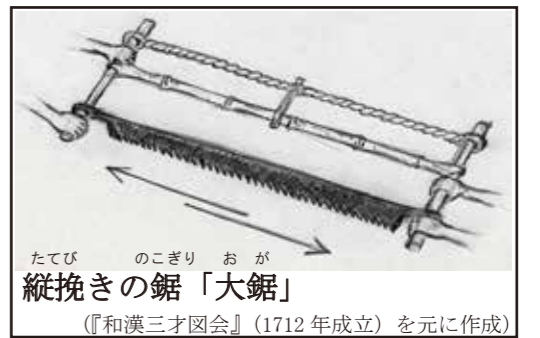
やや黄色に近い黄土色だろうか。そんな色に染まり形相を変えて、花粉を飛ばしていたスギも、今は山の緑に溶けて素直にそこに居る。スギやヒノキは花粉症の元凶だとさんざん言われているが、用材としてさかんに利用されてきた歴史をもつ。

飛鳥時代や奈良時代、法隆寺などの寺院建築および都の造営は、大和地方やその近隣の豊富な森林資源によって支えられていた。当時、板や角材を作るのは大変なことであった。弥生時代さながらに楔を丸太に打ち込んで引き裂いてから、おおよその形にした後、チョウナや槍ガンナを使って仕上げていたのである。節の多い木からは板を作れなかった。だから、木目が通って割りやすいヒノキやスギが求められ、山野でさかんに伐採された。立ち姿がよく、相当な樹齢をもつ森林資源はいつかは枯渇してしまう。すると、さらに遠方へと木を求めることになる。

この時期、松阪でも寺院の建立ブームがあった。天花寺廃寺などである。嬉野釜生田町内にある瓦窯跡から見つかった大きな鴟尾を見れば、当時の寺院の規模の大きさがわかる。そして、たぶん多くの木が必要だったろう。

木を選ばずとも、たやすく板や角材を作ることができるようになるのは、室町時代になってからである。この時代に中国や朝鮮半島から伝わった鋸は、木を「縦」に挽くものであった。この縦挽きの鋸「大鋸」を使うことで初めて、節の多い木や繊維の入り組んだ木でも容易で安価に加工することができるようになったのである。さらに江戸時代になると、用途に応じた鋸が発明され、土木技術は大いに発達することとなる……。

6 月のはにわ館では常設展示「宝塚古墳の謎」を開催しています。ぜひご覧ください。市民ギャラリーでは市民の皆さんによる写真の展覧や「映画監督小津安二郎展」、日本の風や世界の風を扱う展示および風作りワークショップがあります。ぜひお出かけ下さい。(所長)



文化財センター はにわ館 & ギャラリー 6 月の催し物予定

6 月の休館日は 6 日(月)、13 日(月)、20 日(月)、27 日(月)です。
開館時間は 9:00~17:00 です。

【はにわ館】 入館料 100 円 (18 歳以下無料) * 入館は 16:30 まで

第 1 展示室 ■ 常設展「宝塚古墳の謎」

【ギャラリー】 入場無料 * 最終日は 16:00 まで

第 1G ■ 全日本写真連盟 88 支部 第 32 回 写真展 6/8(水)~12(日) * 10:00 から

第 1・2・3G ■ 第 5 回 松阪写真交流会 フォトフェスティバル 6/14(火)~19(日) * 10:00 (初日は 13:00) から

第 3G ■ 映画監督小津安二郎展~小津安二郎の足跡を辿る~ 6/21(火)~26(日) * 10:00~16:00

第 2G ■ CANON PHOTO CLUB ISE #4 PHOTO VISION 6/25(土)~7/3(日) * 初日は 12:00 から

第 1G ■ たのしい風展~日本の風・世界の風~ 6/25(土)~7/10(日) * 9:30~16:30 (最終日も)

【「たのしい風展」風作りワークショップ】 * 13:30~15:30

第 1G ■ 「10 分でできる風作り ぐにゃぐにゃ風」 第 1 回 6/25(土)・第 2 回 7/2(土)・第 3 回 7/9(土) * 参加費(材料代) 50 円 * 事前申込不要

第 1G ■ 「和風を作ろう」 7/3(日) * 参加費(材料代) 200 円 * 事前申込不要 (先着 20 名)